



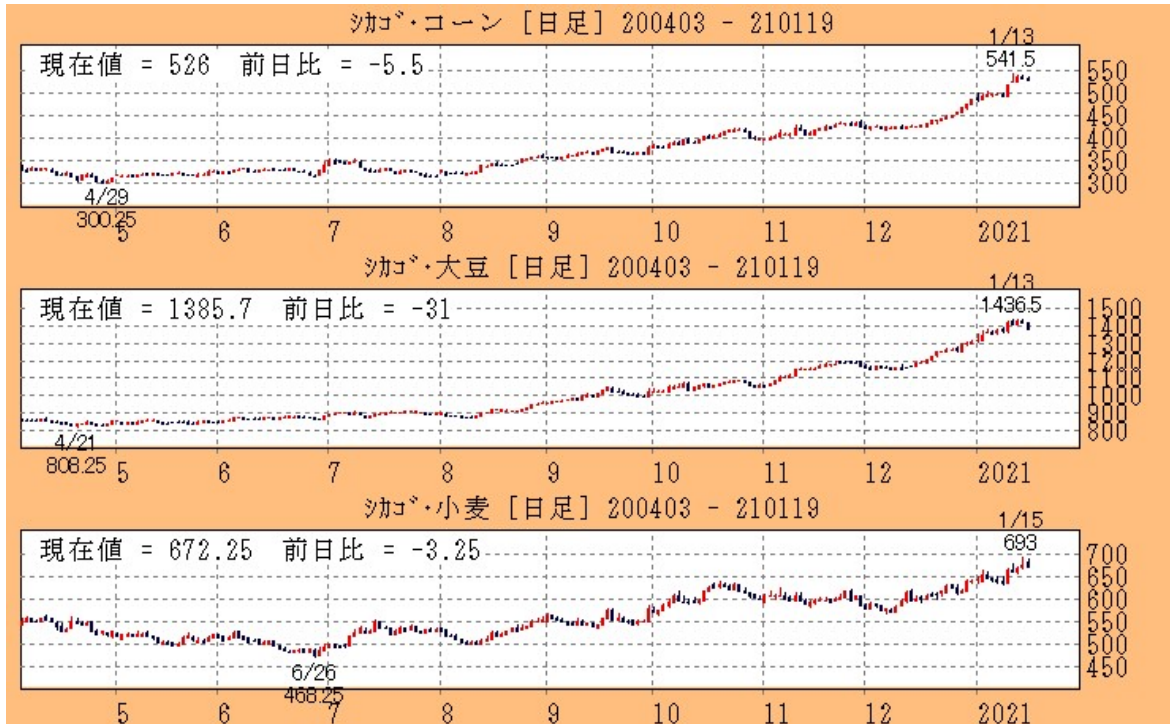
週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜夕方発行

トウモロコシ、大豆は続落

発行日 : 2021/1/20



19日のシカゴトウモロコシ3月限は前日比▲5.50セント安の526.00セントと続落。取引レンジは523.25セント～534.25セント。欧州の時間帯には530セント台を回復する動きを見せたが、ブラジルとアルゼンチンでの降雨で収穫見通しが回復し、世界の供給状況が改善の見込みとなったことが弱材料視された。低調なコーンの週間輸出検証高が示されたことも売り要因となった。また、大豆の大幅な下げを嫌気する売りが優勢となると、軟調となった前営業日の流れを受けて利益確定の売りが続き、安値に近い水準での終了となった。ただ、米農務省が日本とイスラエル向けに大口成約を発表したことで下げ幅は限られた。

19日のシカゴ大豆3月限は前日比▲31.00セント安の1385.75セントと続落。2.2%下げ、下落幅は昨年10月12日以来の大きさ。取引レンジは1383.25セント～1421.25セント。米農務省が大口の輸出成約報告を明らかにしたものの、これまでの上昇で前営業日に利益確定の売りを受けて反落に転じたことから、利益確定の動きが活発になった。また、ブラジル・アルゼンチンの降雨で生育不安が後退したことが下押し要因となった。

19日のシカゴ小麦3月限は前日比▲3.25セント安の672.25セントと反落。取引レンジは668.75セント～691.25セント。アルゼンチンの降雨を受けて乾燥懸念が後退したことや、大豆やコーンが続落したことに連れて、売りが優勢となった。ロシアの輸出税引き上げによる米国の輸出拡大への期待も支援材料となっている。



TOPICS 1月の米国産トウモロコシの需給報告

米国産トウモロコシの旧穀19/20年度

米国産トウモロコシ	16/17年 度	17/18年 度	18/19年 度	19/20年度										16/17年比	17/18年比
	19年4月	20年4月	20年11月	19年5月	20年10月	20年11月	20年12月	前月比	前月比%	前年比	前年比%				
	百万エーカー														
作付面積	94.0	90.2	88.9	92.8	89.7	89.7	89.7	+0	+0.0%	+0.8	+0.9%	▲4.3	▲0.5		
収穫面積	86.7	82.7	81.3	85.4	81.3	81.3	81.3	+0	+0.0%	+0.0	+0.0%	▲5.4	▲1.4		
ブッシェル/エーカー															
単収	174.6	176.6	176.4	176.0	167.5	167.5	167.5	+0	+0.0%	▲8.9	▲5.0%	▲7.1	▲9.1		
百万エーカー															
期初在庫	1,737	2,293	2,140	2,095	2,221	2,221	2,221	+0	+0.0%	+81.0	+3.8%	+484.0	▲72.0		
生産	15,148	14,609	14,340	15,030	13,620	13,620	13,620	+0	+0.0%	▲720.0	▲5.0%	▲1,528.0	▲989.0		
輸入	57	36	28	35	42	42	42	+0	+0.0%	+14.0	+50.0%	▲15.0	+6.0		
供給合計	16,942	16,939	16,509	17,160	15,883	15,883	15,883	+0	+0.0%	▲626.0	▲3.8%	▲1,059.0	▲1,056.0		
飼料その他	5,472	5,304	5,429	5,450	5,827	5,827	5,903	+76	+1.3%	+474.0	+8.7%	+431.0	+599.0		
食品・種子・工業用	6,883	7,057	6,793	6,950	6,282	6,282	6,282	+0	+0.0%	▲511.0	▲7.5%	▲601.0	▲775.0		
エタノール等	5,432	5,605	5,378	5,500	4,852	4,852	4,852	+0	+0.0%	▲526.0	▲9.8%	▲580.0	▲753.0		
国内消費合計	12,356	12,361	12,222	12,400	12,109	12,109	12,185	+76	+0.6%	▲37.0	▲0.3%	▲171.0	▲176.0		
輸出	2,293	2,438	2,066	2,275	1,778	1,778	1,778	+0	+0.0%	▲288.0	▲13.9%	▲515.0	▲660.0		
需要合計	14,649	14,798	14,288	14,675	13,887	13,887	13,963	+76	+0.5%	▲325.0	▲2.3%	▲686.0	▲835.0		
期末在庫	2,293	2,140	2,221	2,485	1,995	1,995	1,919	▲76	▲3.8%	▲302.0	▲13.6%	▲374.0	▲221.0		
在庫率	15.7%	14.5%	15.5%	16.9%	14.4%	14.4%	13.7%	▲0.6%	▲4.3%	▲1.8%	▲11.6%	▲1.9%	▲0.7%		

1月にUSDAによって公表される12月の米国産トウモロコシ需給報告は例年11月を踏襲したほぼファイナルな数字となるが、今年は冷害であった。ただ、旧穀19/20年度は、飼料その他の需要が+7600万ブッシェル上方修正されただけであったが、その分期末在庫は圧縮され、▲0.6%低下して、14.4%から13.7%に下方修正された。

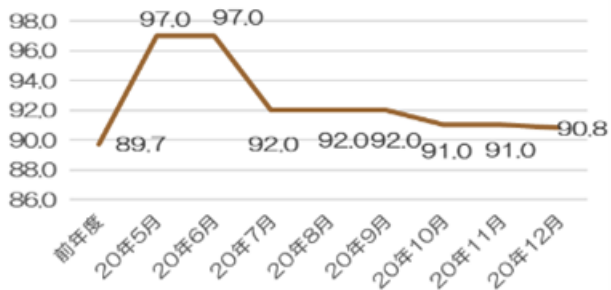
米国産トウモロコシの新穀20/21年度

米国産トウモロコシ	17/18年度	18/19年度	19/20年度	20/21年度									
	20年4月	20年12月	20年12月	20年5月	20年10月	20年11月	20年12月	前月比	前月比%	前年比	前年比%	17/18年度比	18/19年度比
百万エーカー													
作付面積	90.2	88.9	89.7	97.0	91.0	91.0	90.8	▲0.2	▲0.2%	+1.1	+1.2%	+0.6	+1.9
収穫面積	82.7	81.3	81.3	89.6	82.5	82.5	82.5	+0.0	+0.0%	+1.2	+1.5%	▲0.2	+1.2
ブッシェル/エーカー													
単収	176.6	176.4	167.5	178.5	178.4	175.8	172.0	▲3.8	▲2.2%	+4.5	+2.7%	▲4.6	▲4.4
百万エーカー													
期初在庫	2,293	2,140	2,221	2,098	1,995	1,995	1,919	▲76.0	▲3.8%	▲302.0	▲13.6%	▲374	▲221
生産	14,609	14,340	13,620	15,995	14,722	14,507	14,182	▲325.0	▲2.2%	+562.0	+4.1%	▲427	▲158
輸入	36	28	42	25	25	25	25	+0.0	+0.0%	▲17.0	▲40.5%	▲11	▲3
供給合計	16,939	16,509	15,883	18,118	16,742	16,527	16,127	▲400.0	▲2.4%	+244.0	+1.5%	▲812	▲382
飼料その他	5,304	5,429	5,903	6,050	5,775	5,700	5,650	▲50.0	▲0.9%	▲253.0	▲4.3%	+346	+221
食品・種子・工業用	7,057	6,793	6,282	6,600	6,475	6,475	6,375	▲100.0	▲1.5%	+93.0	+1.5%	▲682	▲418
エタノール等	5,605	5,378	4,852	5,200	5,050	5,050	4,950	▲100.0	▲2.0%	+98.0	+2.0%	▲655	▲428
国内消費合計	12,361	12,222	12,185	12,650	12,250	12,175	12,025	▲150.0	▲1.2%	▲160.0	▲1.3%	▲336	▲197
輸出	2,438	2,066	1,778	2,150	2,325	2,650	2,550	▲100.0	▲3.8%	+772.0	+43.4%	+112	+484
需要合計	14,798	14,288	13,963	14,800	14,575	14,825	14,575	▲250.0	▲1.7%	+612.0	+4.4%	▲223	+287
期末在庫	2,140	2,221	1,919	3,318	2,167	1,702	1,552	▲150.0	▲8.8%	▲367.0	▲19.1%	▲588	▲669
在庫率	14.5%	15.5%	13.7%	22.4%	14.9%	11.5%	10.6%	▲0.8%	▲7.2%	▲3.1%	▲22.5%	▲3.8%	▲4.9%

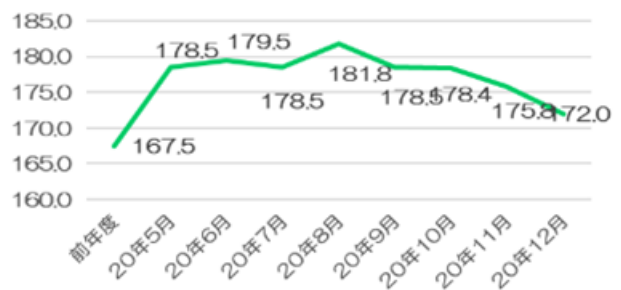
1月12日公表された12月の米国産トウモロコシ需給報告による新穀20/21年度の予想は、生産も需要も大幅に下方修正された。単収が175.8ブッシェル/エーカーから172ブッシェル/エーカーに▲3.8ブッシェル、▲2.2%下方修正され、生産量は145億7千万ブッシェルから141億8,200万ブッシェルに▲3億2500万ブッシェル下方修正された。期初在庫の下方修正と併せて供給合計は▲4億ブッシェル、▲2.4%下方修正され、それに合わせて米国内飼料需要は▲5,000万ブッシェル下方修正され、エタノールも▲1億ブッシェル下方修正されたため、国内需要は▲1億5,000万ブッシェル下方修正され、輸出も▲1億ブッシェル下方修正された。その結果需要合計は▲2億5,000万ブッシェルの下方修正となり、供給と併せて期末在庫は▲1億5,000万ブッシェルの下方修正となり、期末在庫は15億5,200万ブッシェルで期末在庫率は11.5%から10.6%に▲0.8%低下した。



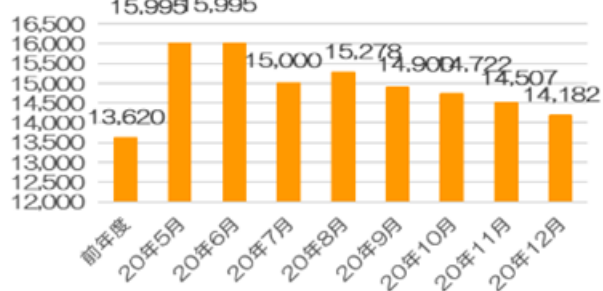
20/21年度の**作付面積**の予想の
月次変化



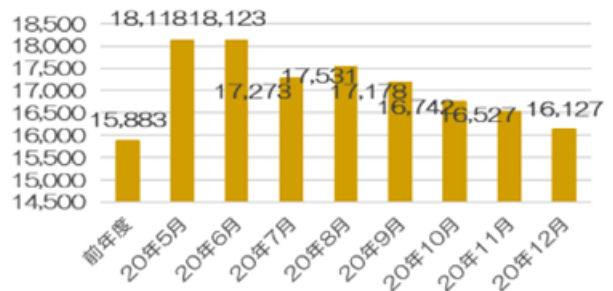
20/21年度の**単収**の予想の
月次変化



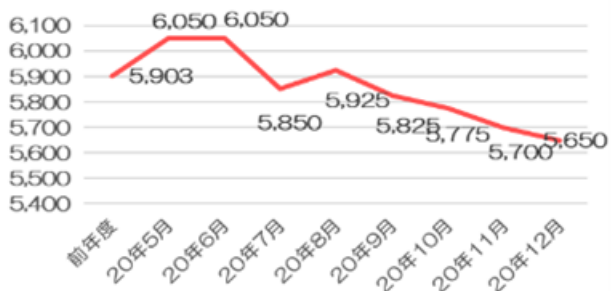
20/21年度の**生産量**の予想の
月次変化



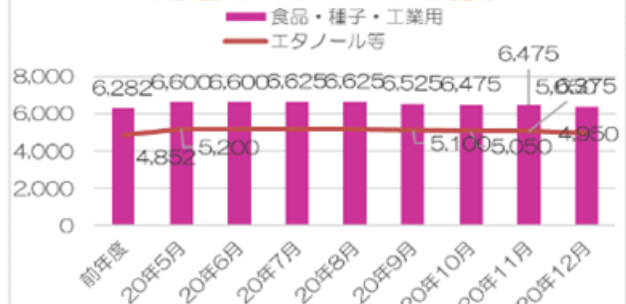
20/21年度の**供給量**の予想の
月次変化



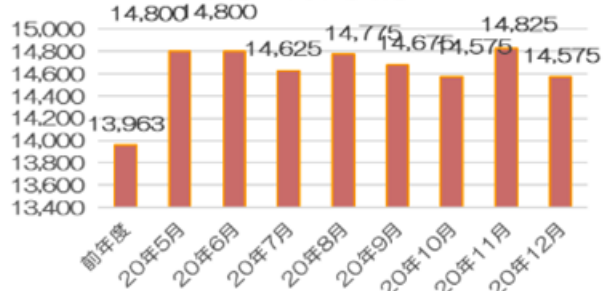
20/21年度の**飼料その他の需要**
の予想の月次変化



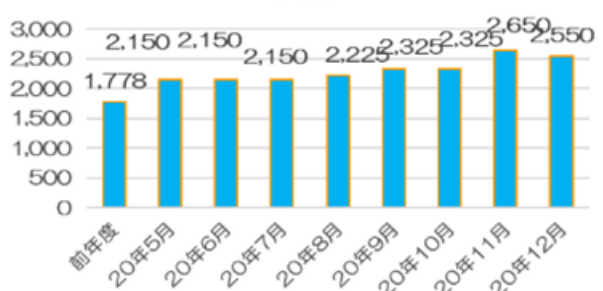
20/21年度の**食品・種子・工業
用途とエタノール需要**



20/21年度の**国内需要合計**の
予想の月次変化

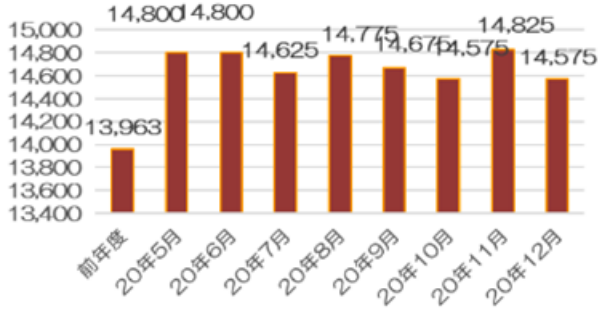


20/21年度の**輸出**の予想の月次
変化

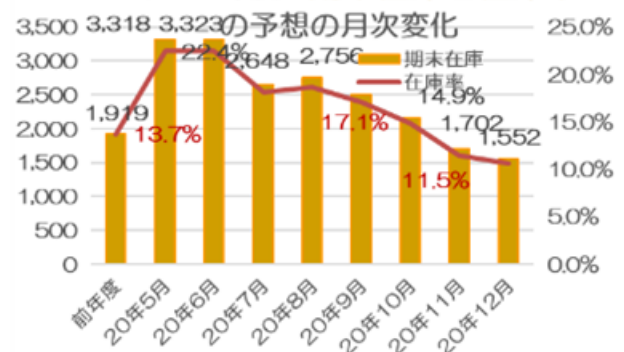




20/21年度の需要合計の予想の
月次変化



20/21年度の期末在庫と在庫率
の予想の月次変化



世界のトウモロコシの旧穀19/20年度

	2019/20年度							
	百万トン	期初在庫	生産	輸入	国内消費（食料）	国内需要合計	輸出	期末在庫
世界	18/19年度	340.8	1,123.8	164.4	703.6	1,144.5	181.7	320.0
	5月	325.9	1,133.8	167.1	705.1	1,145.0	171.6	314.7
	6月	325.4	1,099.2	167.4	696.3	1,134.1	169.8	290.5
	7月	328.8	1,105.1	167.8	696.5	1,135.0	170.8	298.9
	8月	328.6	1,108.2	169.3	694.4	1,129.1	169.9	307.7
	9月	329.6	1,104.9	169.4	694.2	1,128.2	169.9	306.3
	10月	324.0	1,104.0	166.1	693.9	1,125.5	166.6	302.6
	11月	320.1	1,102.2	167.4	694.9	1,126.3	167.1	296.0
	12月	320.1	1,102.2	167.4	694.9	1,126.3	167.1	296.0
	1月	319.2	1,108.6	167.6	696.3	1,127.2	166.6	300.6
	2月	320.4	1,110.8	167.4	703.9	1,133.4	165.6	297.8
	3月	320.5	1,111.6	168.0	704.9	1,135.2	165.8	296.8
	4月	341.6	1,123.7	162.9	702.3	1,144.3	180.9	320.9
	5月	341.3	1,123.4	163.0	702.4	1,143.8	180.9	320.9
	6月	320.1	1,113.5	169.6	706.2	1,120.7	169.5	312.9
	7月	320.1	1,113.6	169.2	706.6	1,121.7	171.2	312.0
	8月	320.1	1,112.4	168.5	705.8	1,121.2	171.2	311.3
	9月	320.5	1,112.8	167.5	708.0	1,124.2	170.3	309.2
	10月	319.8	1,116.3	167.1	714.2	1,131.9	170.6	304.2
	11月	319.8	1,116.2	165.8	713.6	1,132.7	171.0	303.3
	12月	319.8	1,116.2	165.3	712.9	1,132.6	171.3	303.4
	1月	320.0	1,116.4	165.2	714.8	1,133.5	170.0	303.0
	前月比	+0.2	+0.2	▲0.2	+1.9	+0.8	▲1.3	▲0.4
	前年度比	▲20.7	▲7.4	+0.8	+11.2	▲11.0	▲11.7	▲17.0

19/20年度の1月の需給報告では、生産量が12月に比べて+20万トン上方修正され、輸入は同▲20万トン下方修正、国内需要は飼料+80万トン上方修正となり、輸出は同▲130万トン下方修正となった。その結果期末在庫は3億300万トンと前月より▲40万トン下方修正され、1月の予想の前年の期末在庫に比べると、▲1700万トンの減少になると言う。



世界のトウモロコシの新穀20/21年度

	2020/21年度							
	百万トン	期初在庫	生産	輸入	国内消費（食料）	国内需要合計	輸出	期末在庫
世界	19/20年度	320.0	1,116.4	165.2	714.8	1,133.5	170.0	303.0
	5月	314.7	1,186.9	176.2	729.0	1,162.0	182.3	339.6
	6月	312.9	1,188.5	176.6	730.4	1,163.5	182.5	337.9
	7月	312.0	1,163.2	176.9	727.5	1,160.1	182.5	315.0
	8月	311.3	1,171.0	178.9	732.0	1,164.9	184.7	317.5
	9月	309.2	1,162.4	179.3	733.1	1,164.7	186.0	306.8
	10月	304.2	1,158.8	177.8	731.3	1,162.6	184.5	300.5
	11月	303.3	1,144.6	178.2	725.7	1,156.5	184.8	291.4
	12月	303.4	1,143.6	179.6	728.0	1,158.0	186.0	289.0
	1月	303.0	1,133.9	176.3	725.0	1,153.1	183.6	283.8
	前月比	▲0.4	▲9.7	▲3.3	▲3.0	▲5.0	▲2.3	▲5.1
		▲0.1%	▲0.8%	▲1.8%	▲0.4%	▲0.4%	▲1.3%	▲1.8%
	前年度比	▲17.0	+17.5	+11.1	+10.2	+19.6	+13.6	▲19.2
		▲5.3%	+1.6%	+6.7%	+1.4%	+1.7%	+8.0%	▲6.3%

20/21年度新穀の1月の世界の需給報告では、生産量が12月に比べて▲970万トン、▲0.8%下方修正され、輸入は同▲30万トン▲1.8%下方修正され、国内需要は同▲500万トン、▲0.4%下方修正され、輸出は同▲230万トン、▲1.3%下方修正された。その結果期末在庫は同▲510万トン、▲1.8%の下方修正となった。

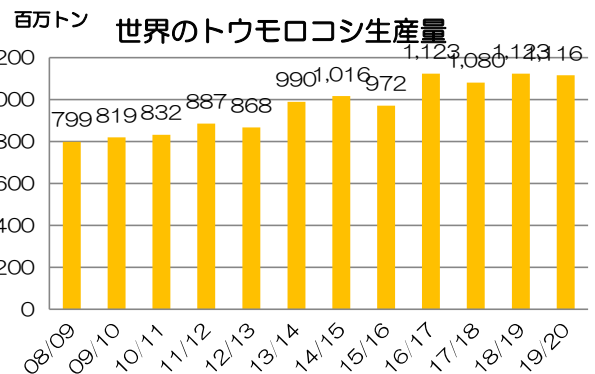
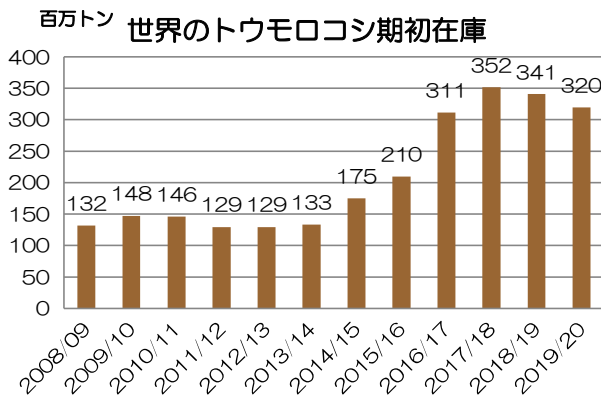
前年(1月の数値)と比べると、生産量は+1,750万トン+1.6%増加し、輸入は1,110万トン、+6.7%増加、国内需要は+1960万トン、+1.7%増加し、輸出は+1,360万トン、+8.0%増加と供給も需要も昨年度よりは増加して、期末在庫は▲1,920万トン、▲6.3%減少している。

トウモロコシの新穀20/21年度の国別生産量予想の推移

2020/21年度の世界生産量						
百万トン	世界	米国	ブラジル	アルゼンチン	中国	ウクライナ
5月	1,186.9	406.3	106.0	50.0	260.0	39.0
6月	1,188.5	406.3	107.0	50.0	260.0	39.0
7月	1,163.2	406.3	107.0	50.0	260.0	39.0
8月	1,171.0	388.1	107.0	50.0	260.0	39.0
9月	1,162.4	378.5	110.0	50.0	260.0	39.5
10月	1,158.8	374.0	110.0	50.0	260.0	36.5
11月	1,144.6	368.5	110.0	50.0	260.0	36.5
12月	1,143.6	368.5	110.0	49.0	260.0	29.5
1月	1,133.9	360.3	109.0	49.0	260.7	29.5
前月比	▲9.7	▲8.2	▲1.0	+0.0	+0.7	+0.0
対5月比	▲53.0	▲46.0	+3.0	▲1.0	+0.7	▲9.5

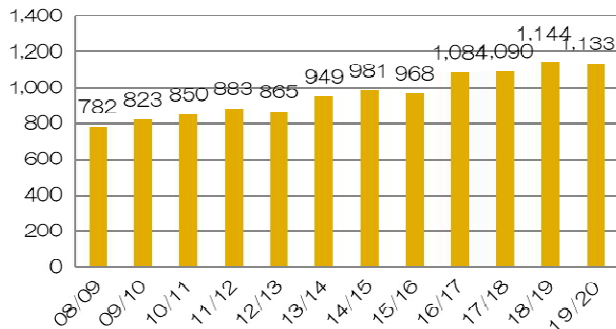
20/21年度のトウモロコシの生産量は、1月の予想は、世界の生産量が▲970万トン下方修正され、米国が▲820万トン減、ブラジルが▲100万トン減、中国が+70万トン増であった。

期初の5月からの乖離は世界の生産量は▲5300万トン下方修正され、米国が▲4600万トンの下方修正であった。ブラジルと中国は増加し、アルゼンチンやウクライナその他の国の生産量が期初の予想を下回っている。

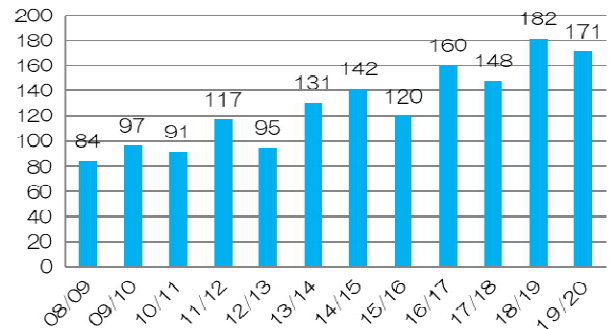




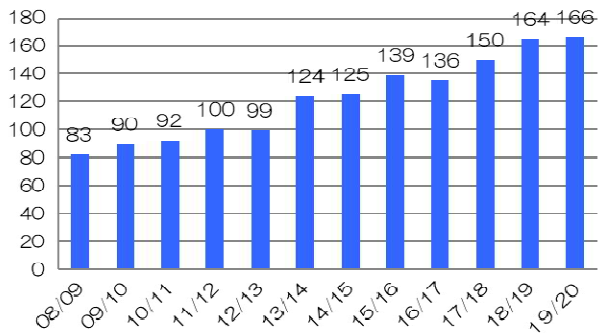
百万トン 世界のトウモロコシ国内需要量



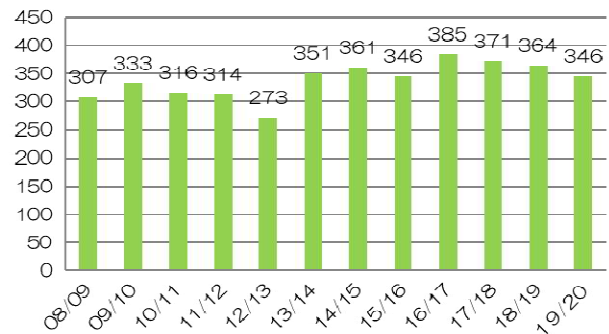
百万トン 世界のトウモロコシ輸出力



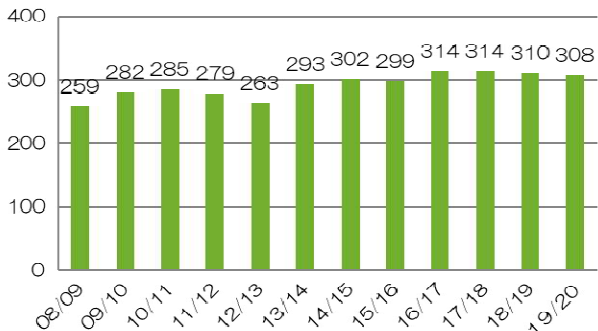
百万トン 世界のトウモロコシ輸入量



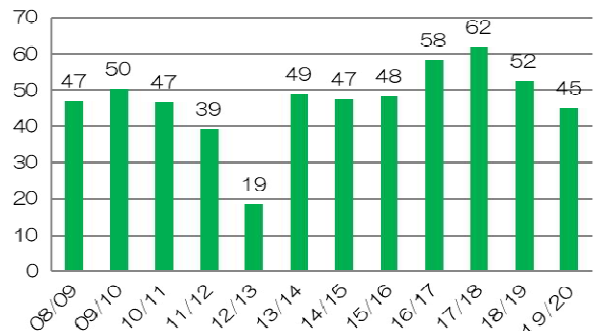
百万トン 米国のトウモロコシ生産量



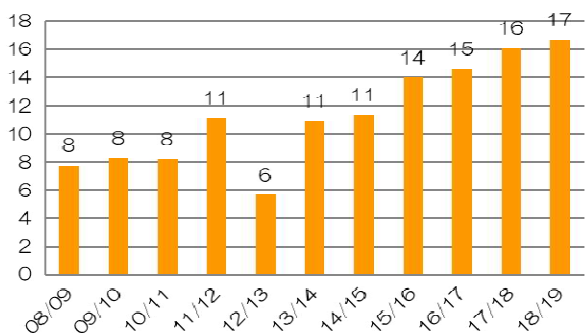
百万トン 米国のトウモロコシ需要量



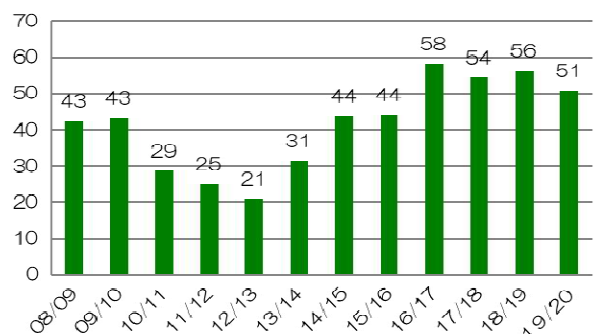
百万トン 米国のトウモロコシ輸出力



百万トン メキシコのトウモロコシ輸入量

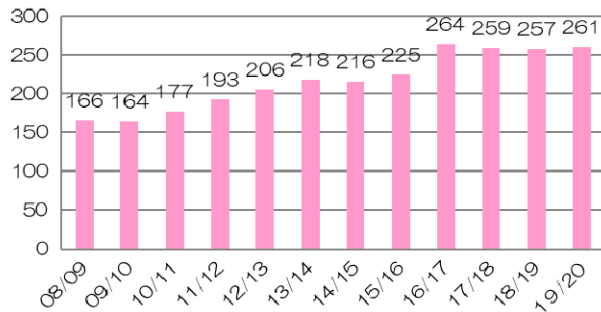


百万トン 米国のトウモロコシ期末在庫量

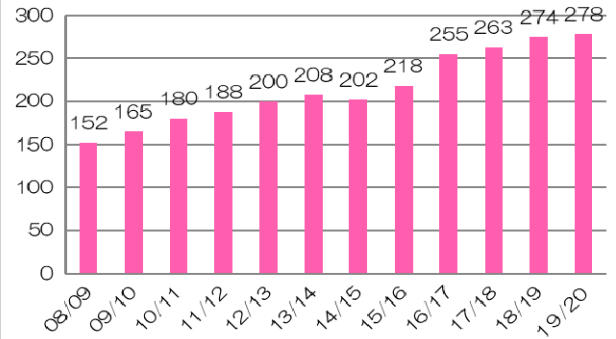




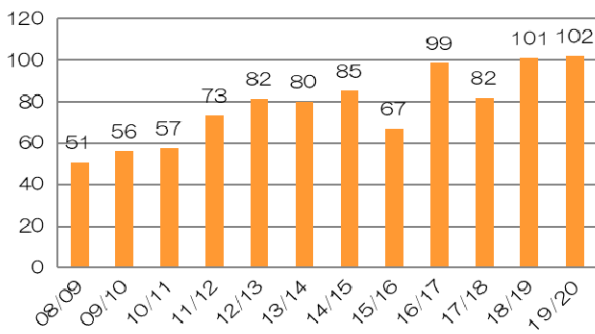
百万トン 中国のトウモロコシ生産量



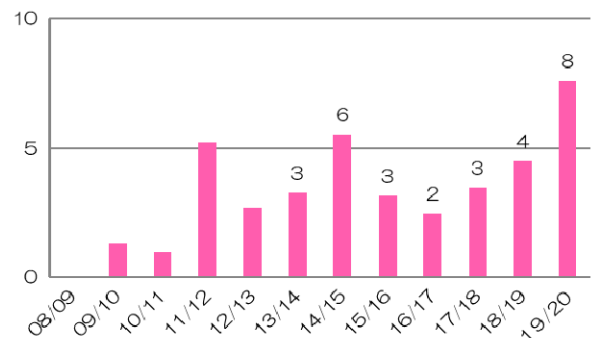
百万トン 中国のトウモロコシ需要量



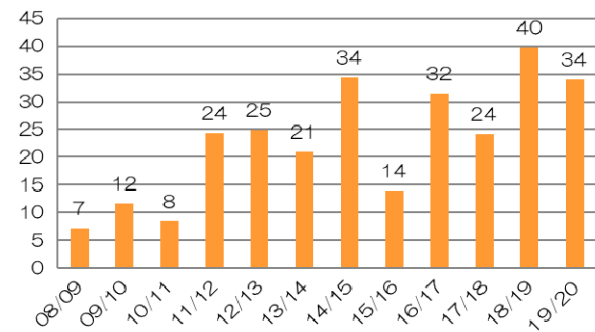
百万トン ブラジルのトウモロコシ生産量



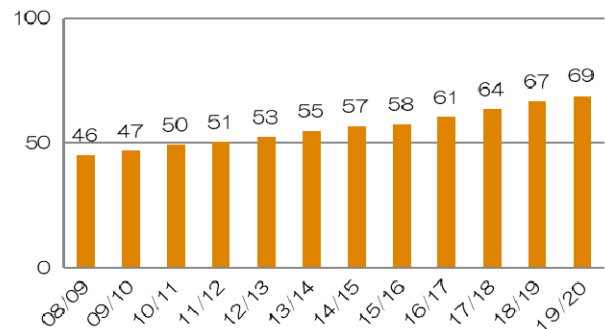
百万トン 中国のトウモロコシ輸入量



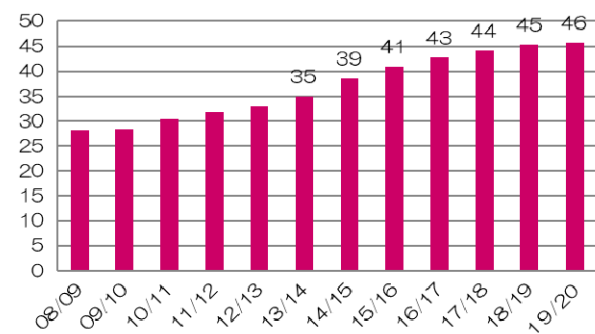
百万トン ブラジルのトウモロコシ輸出量



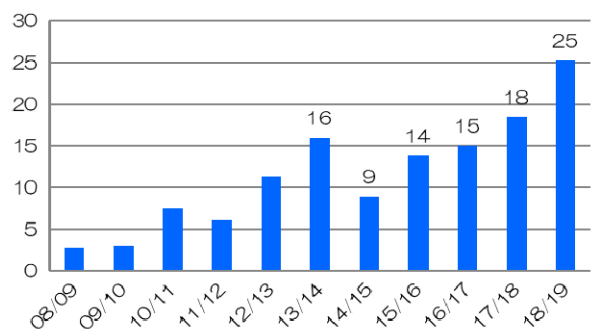
百万トン ブラジルのトウモロコシ需要量

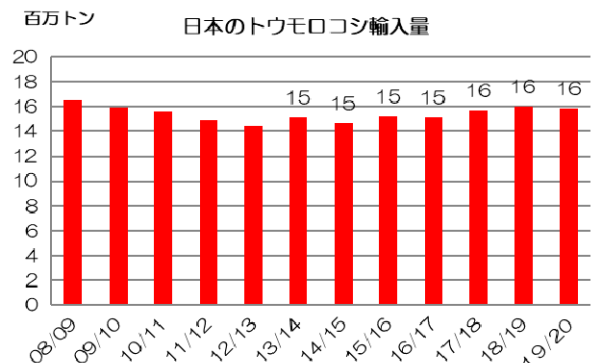
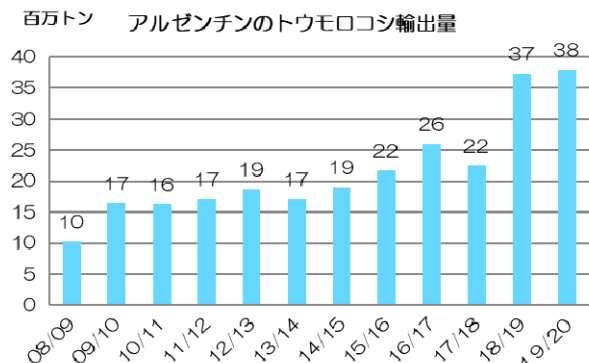


百万トン 東南アジアのトウモロコシ輸入量



百万トン EUのトウモロコシ輸入量





今後の予想

ブラジルではサンパウロ均衡で降雨があり、乾燥気候を和らげている。一方アルゼンチンではトラック業者がストライキを行い道路を閉鎖するなど一部の輸送に支障が出ている。しかし、概して、穀物相場のタイトな雰囲気は和らいでおり、上昇していたトウモロコシ価格は調整局面を迎えているようである。これからは21/22年度の作付面積がどうなるかが話題に上り始める。ただ、需給相場の中でUSDAの1月の需給報告が強気の内容で、期末在庫率は10.6%と12/13年度以来の低い数値となっているため、基本的には需給は締まっており、価格の調整もそれほど大きくないと思われ、南米の生産動向次第では、再び上昇に転じるかもしれない。

ご案内

You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時 Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。 <https://gold-tv.net/>

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

Eメールアドレス：kondo@commi.cc